

- 1 鏡やレンズを通して見たとき、実際には光が集まっていないにもかかわらず、そこにあるかのように見える像を何という？
- 2 凸レンズに対して平行に入ってきた光が通過した後に集まる場所を何という？
- 3 1つの物体に働く2つの力がつり合っているとき、力の大きさや向き以外に、それらの力が配置される条件は何という位置関係を指すか？
- 4 物体が変形したとき、元の形に戻ろうとする性質を何という？
- 5 物体に働く全ての力がつり合っているとき、その物体は止まったままか、あるいはどのような運動状態を維持するか？
- 6 音源が大きく振動することで大きくなる、波の高さを示す値を何という？
- 7 光の反射や屈折を考える際に用いる、鏡などの面に対して垂直に引いた線のことを何という？
- 8 圧力を考えるとき、面に対してどの向きに加わる力を用いるか？
- 9 1平方メートルあたりの面に1ニュートンの力が働くときの圧力の単位を何という？
- 10 凸レンズの焦点の外側に物体を置いたとき、スクリーン上に投影される像のことを何という？
- 11 レンズの境界を通る際に、光の進む向きが変わる現象を何という？
- 12 波の数によって決まる、音の高さの指標となるものを何という？
- 13 凸レンズを通した光がスクリーン上に集まってできる、逆さまの像を何という？
- 14 ばねにおもりをつるしたとき、おもりの重さとばねののびが比例する法則を何という？
- 15 音源が1秒間に振動する回数のことを何という？
- 16 音の高さが同じであっても、楽器ごとに異なるため音色の違いを聞き分けられる原因となる波の形を何という？
- 17 波のグラフを見たとき、中心線から山や谷までの高さを何という？
- 18 光が空気中から水やガラスなどの異なる物質へ斜めに進むとき、その境界面で進む向きが変わる現象を何という？
- 19 1秒間に1回震える回数を表す単位を何という？
- 20 力がはたらく範囲の広さで、同じ力でもこれが小さいほど圧力が大きくなるものを何という？
- 21 凸レンズを通った光が一点に集まり、光の点として捉えることができる像のことを何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>虚像</u> とは、光の進む向きを逆方向にたどって延長した線が交わる点にできる像を指します。		<u>虚像</u>	☐
2	光軸に平行な光を凸レンズに当てると、光はレンズを通った後に一点で交わります。この集まった場所を <u>焦点</u> と呼びます。		<u>焦点</u>	☐
3	これを「 <u>一直線上</u> 」にあると言います。		<u>一直線上</u>	☐
4	<u>弾性</u> は、変形させられた物体が自らの力で元に戻る性質を指します。		<u>弾性</u>	☐
5	これを「 <u>等速直線運動</u> 」と呼びます。		<u>等速直線運動</u>	☐
6	この値はエネルギーの大きさと深く関係しており、音を遠くまで届けるためには大きな <u>振幅</u> が必要です。		<u>振幅</u>	☐
7	鏡や透明な物質の境界面に、直角に交わるように引いた補助線を <u>法線</u> と呼びます。		<u>法線</u>	☐
8	特に、面に対して「 <u>垂直</u> 」に加わる力は、その面を押し込む作用が最大となります。		<u>垂直</u>	☐
9	<u>パスカル</u> は「1ニュートンの力が1平方メートルの面積に垂直に働くときの圧力」と定義されます。		<u>パスカル</u>	☐
10	これを「 <u>実像</u> 」と呼びます。		<u>実像</u>	☐
11	空気中からガラスなどのレンズへ光が入る際、境界面で光が曲がる現象を <u>屈折</u> と呼びます。		<u>屈折</u>	☐
12	高い音ほど1秒間に空気が振るえる回数（ <u>振動数</u> ）が多く、低い音ほどこの回数は少なくなります。		<u>振動数</u>	☐
13	このときスクリーンに映る逆さまの像を <u>実像</u> と呼びます。		<u>実像</u>	☐
14	ばねに加える力が小さい範囲であれば、その力に比例してばねは伸び縮みするという内容です。		<u>フックの法則</u>	☐
15	波が1秒間に繰り返される回数を指す数値です。		<u>振動数</u>	☐
16	<u>波形</u> とは、音の波が描く独自の形状のことです。		<u>波形</u>	☐
17	「 <u>振幅</u> 」は、波の中心線から山（または谷）までの最大の高さです。		<u>振幅</u>	☐
18	<u>屈折</u> は、光が空気から水やガラスなどへ入る際に、その境界面で進行方向が曲がる現象です。		<u>屈折</u>	☐
19	1秒間に1回振動する現象は「1 <u>ヘルツ</u> 」と表されます。		<u>ヘルツ</u>	☐
20	圧力の大きさは、物体に加わる力（ニュートン）を、力がかかっている「 <u>面積</u> 」で割ることで算出されます。		<u>面積</u>	☐
21	物体を焦点の外側に置いたとき、凸レンズで屈折した光が集まる位置にスクリーンを置くと像が浮かび上がります。これが <u>実像</u> です。		<u>実像</u>	☐

言えなかった用語ノート